

令和7年度 信学会昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

あーいいな愛の幼稚園「はだしでジャンプみんなのびのびアリンコ隊」

2. 本年度の重点目標

① 心も身体も元気いっぱい ②楽しい音楽遊び ③やさしい心と仲間づくり

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

○園の教育目標「はだしでジャンプみんなのびのびアリンコ隊」はとても良い。アリは集団の中で元気に育つ。一匹では育たない。アリのように集団の力を大切に育ててほしい。はだし保育はとても健康面など良いことなので続けてほしい。

○園公開の授業参観にモニター会の委員の方に来ていただく。授業の中に温かい保育士と子どもとの関わり合いが見えた。スマホやゲームなどのITの遊びが流行っている中で、身近にある素材を使っていたのはとても良く、子どもたちにとっても親しみやすく考える力も付いているので、こうした活動を続けてほしい。

○園の雰囲気が温かく、職員同士のチームワークの良さを感じる。1人ひとりに手を入れてもらって、子どもに寄り添った保育を大切にしているように感じる。

○子どもが怪我をしたときに直ぐに連絡いただき有難い。引き続き遊び場など環境面の安全の点検配慮を大切にしたい。

○メダカ池を園庭に作ったり、虫網で虫を捕まえて虫の家を作ったりして、生き物との触れ合う環境づくりを大切にしている。子どもも園に行くのが楽しみになっている。

○施設面では南駐車場に街灯を設置してほしい。夕方になると暗くなって危ない面がある。かなり広い駐車場なので、設置については事務局とも相談し検討したい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

○幼稚園型の認定こども園に移行して1年目の年であった。行事面で運動会や音楽会など内容が変わってきたが子どもたちは楽しんで活動できていた。今後は「探求型」の保育を推進していきたい。

○「あーいいな」愛の幼稚園の方針はとても大切であり、園の雰囲気を更に高めるように、子どもに寄り添いながら温かい保育に努めたい。職員・子ども・保護者の繋がり合いも大切にしたい。

○安心・安全面（人的・物的）への意識を高め、更に信頼される園となるよう取り組みたい。